

収穫後の剥皮時期に間に合うように事前に加工作業場の清掃・加工設備の洗浄など準備を進めてください。

## 1. 市田柿の生育状況について（南信試験場参考）

- 満開 6月1日頃（平年並み）
- 肥大（9/1時点）
  - ・ 横径 50.3 mm（平年比 100%） ・ 縦径 47.6 mm（平年比 100%）
- 中野市巡回調査状況
  - ・ 満開：6月2日頃
  - ・ 現在、条紋果の発生は散見されていません。
- 注意事項
  - ・ 糖度や硬度を確認して適期収穫を徹底してください。  
（各地区の収穫期目安については10月以降に調査開始します）  
→現時点での収穫予想は、10月25日頃です。
  - ・ 現時点では条紋果の発生はありませんが、発生した場合には焦らず、適期収穫に努めてください。（健全な果実を適期に収穫する）
  - ・ 気象庁の季節予報では、向こう三か月の天候は気温が平年より高くなる予報がされています。収穫直前の高温により、一気に熟度が進み、熟れ柿が発生することがあるので、今後の気象状況を注視してください。

## 2. 干場(加工場)・機械の準備について

- ◇ 作業場・使用器具の清掃・点検を必ず実施する。
  - ・ 加工に使う設備・機械、くん蒸庫、コンテナ、柿のれん等を清掃・点検する。
  - ・ 次亜塩素酸ナトリウムやエタノールで使用器具をアルコール除菌するとよい。
  - ・ 温度計と湿度計を設置し、乾燥設備の環境を確認しておく。
  - ・ 破れたビニールや欠けたプラ製品(柿のれん等)は使用しない。
- ◇ パイプハウスやコンクリート土間など
  - ・ 扇風機でホコリが舞わないように念入りに掃除する。
  - ・ 床面にはなるべくビニールシートを敷き、地面を露出させないようにする。
- ◇ サビ対策
  - ・ 施設に鉄骨類があればサビを取り除き、防サビ加工を行う。
  - ・ 針金やクギ・カスガイ・フックなどのサビにも注意する。

次ページもご確認ください。

## 干柿 事前準備確認要項

清掃の有無で、雑菌の量は劇的に変わることが証明されています。

**作業場の清掃は必ず実施しましょう。**

また、清掃後でも、しばらくすると雑菌量は増加していきますので、加工の作業前・作業後など定期的な清掃を実施してください。

作業場とは、皮を剥く場所、干し場、くん蒸庫など加工に関わる全ての場所です。

### 10月15日頃までには干場の準備を終わらせましょう！！

#### 1. 作業場の清掃

- ① 干し柿加工に関係のないものは、全て別の場所に移動する . . . □
- ② 作業場のほこり・ゴミなどを清掃する . . . □
- ③ 使用するパイプは、全て濡れ雑巾で拭き掃除を行なう . . . □
- ④ 地面は、まずビニール等を敷き、その上にきれいなシートを敷く . . . □
- ⑤ ビニール等の修復・排水対策は万全か、サビはないか . . . □

#### 2. 器具・機械の準備

- ① 柿のれんを洗浄する . . . □
- ② 扇風機・エアコン・柿もみ機の清掃、整備・試運転する . . . □
- ③ 使用する器具・機械に破損箇所などないか確認する . . . □
- ④ その他、使用する器具は一通り洗浄する . . . □
- ⑤ 温度計・湿度計・バネ秤を設置する . . . □

#### 3. その他

- ① 使用コンテナの洗浄 . . . □
- ② 動物・ペットが侵入できないよう、明確に仕切られているか . . . □